

行革110番 オンブズマン 都議レポート 2009.1.15. No.21

事務所 〒155-0033 東京都世田谷区代田5-10-6 イーストコート代田201 電話 5431-0633 FAX 5300-8457
都議会控室 電話 5320-7281 Fax 5388-1829

ホームページ <http://www.gyoukaku110ban.jp/>
メール goto110@kt.rim.or.jp

発行責任者 **行革110番 都議会議員 後藤雄一**

徹底検証 現場主義

税金のムダ使いを許しません!

Q オリンピックの開催にはお金がかかるんじゃない?

A ▶経済波及効果は全国で2兆8,000億円! 日本中が元気になります
オリンピック開催による経済波及効果は都内で1兆6,000億円、全国で2兆8,000億円と、日本全国に大きな経済効果をもたらします。(※2)

▶オリンピックの大会運営には税金を使いません
大会運営費はテレビ放映やチケット販売による収入などで賄われます。

▶競技会場の7割は今ある会場を使います
1964年の東京オリンピックでつくった競技会場など、既にある会場を最大限利用します。

▶新設する競技会場は都民・国民の共有財産となります
競技会場はオリンピック開催後もスポーツや文化の拠点として有効に利用し、将来の都民・国民に引き継いでいきます。(※3)

（↑広報東京都 第745号抜粋です）

東京都は2016年「どかからない」と一生懸命に宣伝しています。しかし東京都は財源が不足する事を見越して、今年4月には総額4000億円に達する「オリンピック準備基金」として、前号でお知らせした通り、3061億円(見込み)の追加出資を決定しています。今年10月に開かれるIOC総会で、IOC委員は、開催都市の市民の招致賛成!!を投票の重要な要素とします。招致競争が盛り上がり、4000億円は残りわずかです。東京の現状を考え判断して下さい。

一番蒸し暑い「7月29日」から8月14日に開催される事をお忘れなく!!

オリンピック招致に 開催準備基金「4000億円」積立て お金がかかる事は織り込み済み?

東京が負ければ、開催準備基金 4,000億円が都民の手に残ります

区分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
東京オリンピック開催準備基金	100,292,348,708	101,097,032,792	201,389,381,500

↑平成19年度 東京都各会計歳入歳出決算/付属書類-657 ページ「東京オリンピック開催準備基金」の抜粋。19年度末で2013億円、20年度末で3061億円(見込み)、21年度には4,000億円+利息となる。

オリンピック開催準備基金 4,000億円 ↑ 誤摩化されていませんか? ↓ 新銀行東京 調査報告書

- 平成20年3月7日、都知事及び佐藤局長は、新銀行東京から、本件調査報告書の全文を閲覧のためにそれぞれ、一部ずつ預かり受領した(乙第1号証及び乙第2号証)。
 - 平成20年3月10日、新銀行東京は本件調査報告書の概要を公表した(甲第4号証)。
 - 平成20年3月11日、都知事は佐藤局長に本件調査報告書の全文を渡した。同日、佐藤局長は新銀行東京に本件調査報告書の全文2部を返却した(甲第6号証、乙第1号証及び乙第2号証)。
- 平成20年9月16日付け 被告東京都の答弁書 4ページより抜粋 (アンダーラインは、行革110番が書き加えました)

新銀行東京 都、全文を入手せず 詳細検証なく出資案

提訴すると「返却した!!」

(↑ 2008年3月28日 読売新聞)

上記文書は、被告東京都が裁判所に提出した答弁書です。詳細はアンダーライン部分を読んで下さい。

石原知事は「調査報告書・全文」を最初は明らかにするといひながら、誤摩化し続け、裁判で追求されると「実は返却した」と、この言い逃れのテクニックはいつも使う手です。絶対多数を握る石原与党がバックにある石原知事だけに出来る技なのです。

石原知事の選挙公約(03年)でスタートした新銀行東京。都民の税金1000億円を投じて05年4月に開業しましたが、開業からたった3年で1016億円の累積赤字を抱え、破綻しそうになり「4000億円(税金)の追加出資」を決めたのは昨年3月です。この時、銀行は累積赤字の原因・責任等を調べ「内部調査報告書」を作成し、石原知事に渡したとされています。しかし、4000億円の追加出資の審議をする議会に提出されたのは概要版だけです。行革110番は調査報告書の全文を情報公開請求したのですが、都には「存在しない」というので、そこで、東京地裁に提訴したところ、知事は「読み終えたら返却する」との約束で借り、5日後に佐藤・産業労働局長に渡し、局長が銀行に返却した。「誰に見せず写しをとることも行わなかった」と言うのですが、本当でしょうか。

オリンピック招致・新銀行東京、これが目玉事業の現状です。

都民が選んだ「石原知事」が進める事業です。しかし誤摩化はいけません。都民が納めた税金です、使われ方をチェックして

いないととんでもないことになります。新銀行東京では、既に861億円の税金をドブに捨ててしまいました。

新銀行東京 累積赤字(1016億円)の「調査報告書・全文」 石原知事は、約束通りに「返却」したって本当?

オリンピック招致気運を高める為？ 6億2千万円の中身は！

**各自自治体に1000万円
招致気運・盛上げ費用!!**

東京都が2016年オリンピック招致を勝ち取る為には、都民の多くが招致を望んでいるとIOC委員にアピールする必要がありま

す。しかし盛り上がりません。招致気運を盛り上げ・広報の為にムーブメント推進経費としての95億円を含め、招致経費の総額は150億円。

その中に、62の市区町村に「祭り・イベント」等にオリンピック招致を宣伝する事を条件に、上限1千万円（総額6億2千万円）で補助（資金提供）する事業があります。左の表は、行革110番が情報公開で入手し昨年9月末で集計しました（まだ増えそうです）。既に上限を超えている自治体もあり、バラマキ状態です。

区市町村名	イベント名	金額(円)
足立区	推進事業in舎人公園	2,100,000
荒川区	リバーサイドマラソン・他	10,750,000
板橋区	第50回いたばし花火大会	1,919,400
江戸川区	「第33回江戸川花火大会」	10,000,000
大田区	OTAふれあいフェスタ	250,000
葛飾区	スポーツフェスティバル	9,764,250
北区	ふるさと北区 区民まつり	8,565,770
江東区	シーサイドマラソン・他	6,236,000
品川区	まちづくり事業展の実施	2,500,000
渋谷区	しずやニュー 駅伝2009	2,723,000
墨田区	花火大会・他	14,785,000
世田谷区	世田谷未来博・他	11,800,000
台東区	寿作品展示会・他	3,775,000
中央区	東京湾大華火祭	10,000,000
千代田区	区民体育大会	4,377,556
豊島区	in東京よさこい	8,000,000
中野区	中野まつり	1,379,700
練馬区	区民体育大会	7,660,332
文京区	文の京	10,000,000
港区	「スポーツと文化芸術の融合」	5,471,000
目黒区	MEGURO 音と光のページェント	10,000,000
昭島市	昭島市新春駅伝競走大会	4,882,350
あきる野市	あきる野映画祭・他	3,145,000
稲城市	いなぎ市民祭	5,878,985
青梅市	青梅市民フェスティバル	4,000,000
清瀬市	オリンピックを開催しよう!	5,000,000
国立市	ウォーキング事業・他	9,014,000
小金井市	「黄金井キャンドルナイト」	7,035,000
国分寺市	国分寺市・共同推進事業	8,832,000
小平市	市民スポーツまつり・他	10,247,350
多摩市	スポーツスリーダー	10,000,000
調布市	調布市花火大会	8,400,000
羽村市	はむら夏まつり・他	3,893,225
東村山市	オリンピック啓発事業	9,983,000
東大和市	市民運動会・スポーツ大会・他	7,140,175
日野市	健康フェア・他	10,000,000
日の出町	ふるさとふれあい夏まつり	5,871,100
檜原村	弘沢の滝ふるさと夏まつり	7,000,000
府中市	「地域まつり」・他	3,004,095
福生市	市民総合体育大会運営事業	5,350,000
町田市	まちだ街なか大運動会	10,000,000
瑞穂町	瑞穂町駅伝競走大会	4,424,746
三鷹市	みたかスポーツフェスティバル	1,229,445
武蔵野市	トランポリン普及イベント	3,000,000
武蔵村山市	in村山デエダラまつり	7,851,000
青ヶ島村	青ヶ島村牛祭り	1,521,878
小笠原村	ターترون	3,200,000
利島村	平成20年度利島村花火大会	1,607,000
新島村	新島村村民まつり	10,000,000
八丈町	RAINBOW CUP 2008	5,000,000
御蔵島村	御蔵島村民運動会	368,000
合計		318,935,357

(↑平成20年9月末までの行革110番が入手した文書からの集計です)

お祭り・イベント丸抱えも

千代田区は、区民体育大会で三波豊和さんの東京五輪音頭に合わせて盆踊り。1000人分の衣装（浴衣・帯、法被）の仕立代に335万円。●日野市はのり削減を目指して7千

3,822,000	浴衣(浴衣@8,900×100着+仕立料@7,000×100着+型代80,000)×1.05=1,774,500 帯 @ 5,000×100着×1.05=525,000 ハッピー@10,000×100着×1.05=1,050,000 うちわ@45×10,000本×1.05=472,500	千代田区
637,200	・エコパック 885円×7200個 (CO2削減協定時に配布7,000個、その他イベント等で200個配布)	日野市
962,325	招致ロゴ入りタオル製作費 @611×1,500枚=916,500円 (消費税 45,825円)	三鷹市

オリンピックの相場は?? 万円

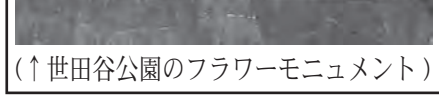
ある。●檜原村は、元オリンピックに108万円。●港区は「区民スポーツ祭り」に合わせた午前

1,081,500	元オリンピックトークショー等出演謝礼:1,081,500円 (出演料のみ)	檜原村
4,754,000	講師謝礼 職田バレエ団 2,772,000 吉田敏彦氏 1,260,000 藤崎謙幸氏 478,000 黒山壽氏(司会) 244,000	港区
617,000	・オリンピック出演費 604,000円×1人×1日=604,000円 ・司会者出演費 13,000円×1人(午後分)=13,000円	東村山市

世田谷区は1080万円!!

世田谷区は3つの事業を行い、総額1080万円、上限の1000万円を超えている。●「たまがわ花火大会」には、花火310万円を含め都の負担分が360万円。●世田谷公園にオリンピック招致のフラワーモニュメントを

2,600,000	招致フラワーモニュメント設置 1,000,000*2基 花の植え付け 200,000*3回	
3,400,000	花火打ち上げ料 ¥3,100,000×1式 オリンピック招致PR看板作成 ¥300,000×1式	



(↑世田谷公園のフラワーモニュメント)

1基100万円×2基設置(←)し、花の植え付け費用3回分を含め、合計270万円。●そして「世田谷未来博」には、550万円。

編集後記

●前回の2005年7月の都議選に係る、選挙カーのガソリン代公費負担増し事件、行革110番が監査請求したところ間違つて請求したであろう候補者のほとんどが07年度中に返還していた。●昨年(08年)暮れ情報公開したところ新たに12名が返還していた事が分かった。これで、返還額の合計は360万になった。候補者は勿論だが、選管の対応は酷すぎた。

選挙区	党派	候補者名	返還額
世田谷区	自民	田代 博嗣	66,000
世田谷区	自民	三宅しげき	43,899
豊島区	民主	泉谷 剛	66,150
八王子	自民	石森 孝志	55,080
北区	自民	高木 啓	54,000
葛飾区	自民	鈴木 一光	54,000
小平市	自民	高橋 信博	49,422
西多摩	自民	白井 孝	27,701
板橋区	**	稲葉 真一	66,000
文京区	**	なかや文孝	66,150
西多摩	**	宮崎 匡功	66,150
青梅市	**	小鮎 将人	64,008
			678,560

●政務調査費で住民訴訟の費用を支出できるか?という裁判(日黒・須藤区議)の判決が昨年9月5日でした。判決には「住民訴訟の勝ち負けは別にして、住民訴訟をキッカケにして、様々な違法な支出が判明し自主的に返還、制度改善につながっている。住民訴訟は、無所属議員にとって区政の調査及び追求をする為の有効な手段であり、住民に対する影響力も大きい。」と書かれ勝訴。勇気をもらいました。
★良い政治を選ぶためには、行政の実態を知る事。これが行革110番の原点です。そこで、この都議レポートを、お1人でも多くの方に読んで頂きたいのです。お近くの方・お知り合いの方等に配って頂ける方を募集しています。少しでも構いません、お届けします。◎小さな税金のムダ使いは大きなムダ使いにつながります。
税金のムダ使いに
関する情報をお寄せ下さい。



都議会議員 後藤雄一

→ 都と区市町村によるオリンピックムーブメント共同推進事業の委託金支出 →